

2003

H15

第 11 回 あま指国家試験

(あま指 11) 医療概論

1~2

あ 11-1 施術者の倫理について誤っているのはどれか。

1. 患者のプライバシーの保護
2. 施術内容の十分な説明
3. 利益優先の施術
4. 患者の QOL の向上

あ 11-2 被用者保険でない医療保険はどれか。

1. 政府管掌健康保険
2. 組合管掌健康保険
3. 国家公務員等共済組合
4. 国民健康保険

(あま指 11) 衛生学公衆衛生学

3~11

あ 11-3 プライマリケアの重点項目でないのはどれか。

1. 予防対策
2. 初期治療
3. 包括保健
4. ホスピス

あ 11-4 人間ドックの主たる目的はどれか。

1. 第一次予防
2. 第二次予防
3. 第三次予防
4. 健康増進

あ 11-5 我が国の食中毒で最も発生の少ない原因菌はどれか。

1. サルモネラ属
2. 腸炎ビブリオ
3. 病原大腸菌
4. ボツリヌス菌

あ 11-6 生活習慣病でないのはどれか。

1. エイズ
2. 糖尿病
3. 高血圧症
4. 高脂血症

あ 11-7 公害による健康被害でないのはどれか。

1. 水俣病
2. イタイイタイ病
3. 川崎病
4. 四日市喘息

あ 11-8 換気の目安となる二酸化炭素の室内濃度はどれか。

1. 1%
2. 0.5%
3. 0.1%
4. 0.05%

(あマ指 11) 衛生学公衆衛生学

3～11

あ 11-9 飲料水の消毒に用いられないのはどれか。

1. 塩素
2. オゾン
3. アルコール
4. 煮沸

あ 11-10 我が国の下水道普及率はどれか。

1. 約 40%
2. 約 60%
3. 約 80%
4. 約 90%

あ 11-11 我が国において廃棄物を処理する上での重点項目でないのはどれか。

1. リサイクル
2. 自家焼却
3. 減量化
4. 分別化

(あマ指 11) 関係法規

12～15

あ 11-12 あん摩マッサージ指圧師の資格要件で欠格事由でないのはどれか。

1. 麻薬中毒者
2. 罰金以上の刑に処せられた者
3. 業務に関して不正の行為があった者
4. 軽犯罪法違反者

あ 11-13 あん摩マッサージ指圧師が医師の同意により行えるのはどれか。

1. 外科手術
2. 薬品投与
3. 骨折患部への施術
4. 診療放射線の人体照射

あ 11-14 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律で広告できないのはどれか。

1. 施術者の氏名
2. 施術所の名称
3. 卒業した学校名
4. 予約による施術の実施

あ 11-15 現在施行中の医療関係法規はどれか。

1. 結核予防法
2. 伝染病予防法
3. 優生保護法
4. 保健所法

(あマ指 11) 解剖学

16～38

あ 11-16 細胞間基質に富むのはどれか。

1. 上皮組織
2. 神経組織
3. 筋組織
4. 支持組織

あ 11-17 橈骨と尺骨の両方に存在するのはどれか。

1. 頸切痕
2. 滑車切痕
3. 鈎状突起
4. 茎状突起

あ 11-18 膝蓋骨の関節面が接するのはどれか。

1. 大腿骨のみ
2. 脛骨と腓骨
3. 大腿骨と脛骨
4. 大腿骨、脛骨および腓骨

あ 11-19 腸脛靭帯に付着するのはどれか。

1. 半膜様筋
2. 大殿筋
3. 大腿二頭筋
4. 外側広筋

あ 11-20 下腿の屈筋群で単関節筋はどれか。

1. 腓腹筋
2. ヒラメ筋
3. 後脛骨筋
4. 長指屈筋

あ 11-21 弾性軟骨があるのはどれか。

1. 下鼻甲介
2. 軟口蓋
3. 気管支
4. 喉頭蓋

あ 11-22 肺について誤っている記述はどれか。

1. 肺胞上皮は線毛上皮である。
2. 栄養動脈は気管支動脈である。
3. 細気管支には軟骨がある。
4. 表面は胸膜で覆われる。

あ 11-23 歯根の表面を構成しているのはどれか。

1. 象牙質
2. エナメル質
3. セメント質
4. 歯肉

あ 11-24 消化管について誤っている記述はどれか。

1. 胃は腹膜で覆われる。
2. 大腸の粘膜には輪状ヒダがみられる。
3. 横行結腸は腸間膜を有する。
4. 虫垂は盲腸に開口する。

あ 11-25 泌尿器について誤っている記述はどれか。

1. 膀胱の上面は腹膜で覆われる。
2. 腎杯の内面は移行上皮で覆われる。
3. 膀胱の筋層は横紋筋である。
4. 尿道括約筋は横紋筋である。

あ 11-26 精子を産生するのはどれか。

1. 精囊
2. 精管
3. 精巣上体
4. 精巣

あ 11-27 卵巣について誤っている記述はどれか。

1. 腹膜後器官である。
2. 実質性臓器である。
3. 種々の卵胞がみられる。
4. 女性ホルモンを分泌する。

あ 11-28 胸腺について誤っている記述はどれか。

1. 縦隔内に位置する。
2. 思春期を過ぎると退縮する。
3. 皮質と髄質が区別される。
4. 胸管が出入りする。

あ 11-29 腹大動脈の直接の枝でないのはどれか。

1. 腹腔動脈
2. 脾動脈
3. 上腸間膜動脈
4. 腎動脈

あ 11-30 僧帽弁が存在する部位はどれか。

1. 右房室口
2. 左房室口
3. 肺動脈口
4. 大動脈口

あ 11-31 動脈血が流れるのはどれか。

1. 肺静脈
2. 奇静脈
3. 門脈
4. 臍動脈

あ 11-32 脾臓について誤っている記述はどれか。

1. 腹腔の右上部に位置する。
2. 脾動脈は脾門を通る。
3. 老朽赤血球を破壊する。
4. 細菌の処理を行う。

あ 11-33 大脳基底核に属するのはどれか。

1. オリーブ核
2. レンズ核
3. 赤核
4. 橋核

あ 11-34 神経叢と分枝する神経との組合せで誤っているのはどれか。

1. 頸神経叢 横隔神経
2. 腕神経叢 正中神経
3. 腰神経叢 坐骨神経
4. 仙骨神経叢 上殿神経

(あマ指 11) 解剖学

16 ~ 38

あ 11-35 筋皮神経が支配する筋はどれか。

1. 上腕筋
2. 三角筋
3. 上腕三頭筋
4. 肘筋

あ 11-36 脳神経について誤っている記述はどれか。

1. 迷走神経は混合神経である。
2. 舌咽神経は混合神経である。
3. 副神経は感覚神経である。
4. 舌下神経は運動神経である。

あ 11-37 角膜の痛みを伝える神経はどれか。

1. 視神経
2. 動眼神経
3. 三叉神経
4. 顔面神経

あ 11-38 中耳について誤っている記述はどれか。

1. 耳小骨がある。
2. 咽頭とつながっている。
3. 蝸牛がある。
4. 外耳とは鼓膜で隔てられている。

(あマ指 11) 生理学

39 ~ 57

あ 11-39 RNA が多く含まれる細胞小器官はどれか。

1. リソソーム
2. 粗面小胞体
3. ミトコンドリア
4. 中心体

あ 11-40 体液の酸塩基平衡に関与しないのはどれか。

1. 肺における二酸化炭素の排泄
2. 腎臓における水素イオンの排泄
3. 肺における酸素の吸収
4. 腎臓における重炭酸イオンの再吸収

あ 11-41 物質の移動に際して圧力を必要とするのはどれか。

1. 浸透
2. 拡散
3. 開口放出
4. ろ過

あ 11-42 赤血球の働きとして誤っているのはどれか。

1. pH の緩衝作用
2. 酸素の運搬
3. 二酸化炭素の運搬
4. 抗体の産生

あ 11-43 心電図の P 波に対応するのはどれか。

1. 心房の収縮
2. 心室の興奮開始
3. 心室の収縮
4. 心室の興奮消退

あ 11-44 呼吸運動の反射性調節において誤っている記述はどれか。

1. 受容器は肺の伸展受容器である。
2. 適当刺激は肺の拡張である。
3. 求心路は迷走神経である。
4. 反射中枢は中脳にある。

あ 11-45 努力性呼吸の呼息時に起こらないのはどれか

1. 横隔膜の収縮
2. 内肋間筋の収縮
3. 外肋間筋の弛緩
4. 腹直筋の収縮

あ 11-46 小腸で吸収されないのはどれか。

1. ガラクトース
2. 麦芽糖
3. アミノ酸
4. 脂肪酸

あ 11-47 産熱に関与しないホルモンはどれか。

1. カテコールアミン
2. 甲状腺ホルモン
3. 黄体ホルモン
4. バソプレッシン

あ 11-48 腎臓の尿細管で再吸収されないのはどれか。

1. アミノ酸
2. アンモニア
3. 重炭酸イオン
4. ブドウ糖

あ 11-49 インスリンについて誤っているのはどれか。

1. 血糖値を下げる。
2. ステロイドホルモンである。
3. ラングルハンス島で産生される。
4. 分泌低下で糖尿病になる。

あ 11-50 脳幹について誤っている記述はどれか。

1. 視床に上行する感覚性神経が通る。
2. 延髄、小脳および中脳で構成される。
3. 自律神経機能の中核がある。
4. 覚醒に重要な神経回路がある。

あ 11-51 脳波について誤っている記述はどれか。

1. δ 、 θ 、 α 、 β 波の順で周波数は低くなる。
2. てんかんの診断に必要である。
3. 棘波（スパイク）は異常脳波である。
4. ノンレム睡眠時には徐波がみられる。

あ 11-52 副交感神経活動の亢進による反応で正しいのはどれか。

1. 毛様体筋弛緩
2. 心拍数増加
3. グリコーゲン合成
4. 直腸平滑筋弛緩

あ 11-53 平滑筋について正しい記述はどれか。

1. 横紋構造をもつ。
2. 血管壁では合胞体として機能する。
3. 骨格筋に比べゆっくり収縮する。
4. 骨格筋に比べ筋疲労が起こりやすい。

あ 11-54 ATP の合成に利用されないのはどれか。

1. クレアチンリン酸
2. グルコース
3. ピルビン酸
4. 二酸化炭素

あ 11-55 多シナプス反射でないのはどれか。

1. 屈曲反射
2. 引っかき反射
3. 伸張反射
4. 交叉性伸展反射

あ 11-56 骨格筋の神経筋接合部における化学伝達物質はどれか。

1. アセチルコリン
2. ノルアドレナリン
3. グリシン
4. グルタミン酸

あ 11-57 二点弁別の最も鋭敏な部位はどれか。

1. 口唇
2. 背部
3. 上腕
4. 下腿

あ 11-58 加齢による骨萎縮が早く高度に出現するのはどれか。

1. 上腕骨
2. 頸椎
3. 腰椎
4. 脛骨

あ 11-59 脂質代謝異常に基づく疾患はどれか。

1. アテローム硬化症
2. アミロイドーシス
3. 痛風
4. 尿毒症

あ 11-60 完全再生するのはどれか。

1. びらん
2. 褥瘡
3. 挫傷
4. 骨折

あ 11-61 ショックの原因に最もなりにくいのはどれか。

1. 熱傷
2. 心筋梗塞
3. 敗血症
4. 急性糸球体腎炎

あ 11-62 肉芽腫を形成しないのはどれか。

1. 結核
2. 梅毒
3. 淋病
4. ハンセン病

あ 11-63 化膿性炎の浸出物中に最も多く含まれている細胞はどれか。

1. リンパ球
2. 形質細胞
3. マクロファージ
4. 好中球

あ 11-64 癌の発生頻度の低いのはどれか。

1. 十二指腸
2. 空腸
3. 結腸
4. 直腸

あ 11-65 呼吸困難の所見でないのはどれか。

1. 呼吸補助筋を使う。
2. 意識障害がある。
3. 息切れがする。
4. 起坐位で楽になる。

あ 11-66 下肢からのリンパの流れが減少するのはどれか。

1. 仰臥位から立位への体位変換
2. 遠位から近位へのマッサージ
3. 静脈弁の閉鎖不全
4. 散歩程度の運動

あ 11-67 浮腫の分類で血中アルブミン値が正常なのはどれか。

1. 肝性浮腫
2. 腎性浮腫
3. 栄養性浮腫
4. アレルギー性浮腫

あ 11-68 門脈圧亢進症による症状はどれか。

1. 黄疸
2. くも状血管腫
3. 女性化乳房
4. 内痔核

あ 11-69 バイタルサインはどれか。

1. 体重
2. 体温
3. 尿量
4. 顔色

あ 11-70 触知できない動脈はどれか。

1. 椎骨動脈
2. 橈骨動脈
3. 膝窩動脈
4. 後脛骨動脈

あ 11-71 熱型において最低でも 37 以上で日内変動が 1 以上なのはどれか。

1. 稽留熱
2. 弛張熱
3. 間欠熱
4. 波状熱

あ 11-72 関節障害でトレンデレンブルグ徴候を起こすのはどれか。

1. 肩関節
2. 股関節
3. 膝関節
4. 足関節

あ 11-73 長期臥床で起こりにくいのはどれか。

1. 筋萎縮
2. 沈下性肺炎
3. 肝機能障害
4. 関節拘縮

あ 11-74 集中治療の適応でない病態はどれか。

1. 重症熱傷
2. 心筋梗塞
3. 重症呼吸不全
4. 末期癌

あ 11-75 最も危険な状態を示す呼吸はどれか。

1. チェーン・ストークス呼吸
2. クスマウル呼吸
3. あえぎ呼吸
4. 睡眠時無呼吸

あ 11-76 静止時振戦が特徴的にみられるのはどれか。

1. パーキンソン病
2. 甲状腺機能亢進症
3. 多発性硬化症
4. アルコール中毒

あ 11-77 ハウスダストがアレルゲンである小児喘息患者への対応で適切なのはどれか。

1. 身近なぬいぐるみは頻繁に洗濯する。
2. 寝具は羊毛にする。
3. 就寝直前に掃除機をかける。
4. ほこりが入らないように窓を閉めておく。

あ 11-78 腎結石で現れにくいのはどれか。

1. 尿路感染症
2. 血尿
3. 排尿痛
4. 水腎症

あ 11-79 副甲状腺腫大を起こすのはどれか。

1. 心不全
2. 呼吸不全
3. 肝不全
4. 腎不全

あ 11-80 体位と褥瘡好発部位との組合せで誤っているのはどれか。

1. 仰臥位 踵部
2. 側臥位 外果部
3. ファウラー位 大転子部
4. 座位 坐骨部

あ 11-81 高脂血症をきたすのはどれか。

1. 甲状腺機能亢進症
2. ネフローゼ症候群
3. アジソン病
4. 肝硬変

あ 11-82 痛風でみられないのはどれか。

1. 尿路結石
2. 腎不全
3. 関節炎
4. 肝不全

あ 11-83 高血圧がみられる疾患はどれか。

1. シモンズ病
2. 原発性アルドステロン症
3. アジソン病
4. 粘液水腫

あ 11-84 狭心症で誤っているのはどれか。

1. 胸部絞扼感
2. 30分以上の胸痛
3. ニトログリセリンで症状の軽快
4. 冷や汗

あ 11-85 急性白血病でみられないのはどれか。

1. 皮下出血
2. 脾腫
3. 病的骨折
4. 発熱

あ 11-86 動脈硬化の部位とその症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 内頸動脈 間欠跛行
2. 冠動脈 胸痛
3. 腎動脈 高血圧
4. 大腿動脈 冷感

あ 11-87 拘束性換気障害をきたす疾患はどれか。

1. 気管支喘息
2. 慢性気管支炎
3. 肺線維症
4. 肺気腫

あ 11-88 緑内障と関係ないのはどれか。

1. 硝子体混濁
2. 視神経萎縮
3. 視野欠損
4. 眼圧上昇

あ 11-89 男性に多い疾患はどれか。

1. 先天性股関節脱臼
2. 関節リウマチ
3. 変形性膝関節症
4. 痛風

あ 11-90 アレルギー性鼻炎の三徴候でないのはどれか。

1. 発作性のくしゃみ
2. 鼻出血
3. 鼻閉
4. 水様性鼻汁

あ 11-91 神経麻痺で母指対立筋の萎縮がみられるのはどれか。

1. 筋皮神経
2. 尺骨神経
3. 橈骨神経
4. 正中神経

あ 11-92 施術中の患者が突然うなり声をあげて卒倒した。最初に行うべきことはどれか。

1. 意識の有無を確認する。
2. 呼吸の有無を確認する。
3. 脈を診る。
4. 血圧を測定する。

あ 11-93 骨粗鬆症の治療に用いられないのはどれか。

1. ビタミン A
2. 活性型ビタミン D
3. エストロゲン
4. カルシトニン

あ 11-94 症候性パーキンソニズムの原因とならないのはどれか。

1. 脳炎
2. 一酸化炭素中毒
3. 脳血管障害
4. ギラン・バレー症候群

あ 11-95 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

- | | |
|------------------|-------|
| 1. ウィルソン病 | 片麻痺 |
| 2. クロイツフェルト・ヤコブ病 | 痴呆 |
| 3. アルツハイマー病 | 感覚障害 |
| 4. パーキンソン病 | アテトーゼ |

あ 11-96 ヒステリーの病前性格として適切でないのはどれか。

1. 生真面目
2. 自己中心的
3. 情緒未熟
4. 感情易変性

あ 11-97 温熱療法に用いられないのはどれか。

1. 極超短波
2. 低周波
3. 赤外線
4. 超音波

あ 11-98 筋力と運動療法との組合せで適切でないのはどれか。

- | | |
|---------|--------|
| 1. 筋力 0 | 他動運動 |
| 2. 筋力 1 | 自動介助運動 |
| 3. 筋力 2 | 抵抗運動 |
| 4. 筋力 3 | 自動運動 |

あ 11-99 股関節を動かす作用のない筋はどれか。

1. 大内転筋
2. 縫工筋
3. 半腱様筋
4. 外側広筋

あ 11-100 治療体操と疾患との組合せで誤っているのはどれか。

- | | |
|-------------|--------|
| 1. フレンケル体操 | 脊柱側弯症 |
| 2. ウイリアムス体操 | 腰痛症 |
| 3. バージャー体操 | 下肢血行障害 |
| 4. コッドマン体操 | 肩関節周囲炎 |

あ 11-101 障害分類における機能障害でないのはどれか。

1. 筋力低下
2. 知覚低下
3. 歩行困難
4. 記憶障害

あ 11-102 動作と関節の運動方向との組合せで正しいのはどれか。

- | | |
|------------------|-------|
| 1. ワイシャツのボタンをかける | 肩関節外旋 |
| 2. 顔を洗う | 前腕回外 |
| 3. あぐらをかく | 股関節内旋 |
| 4. 背伸びをする | 足関節伸展 |

あ 11-103 仙骨部褥瘡の予防対策で誤っているのはどれか。

1. 栄養状態を良くする。
2. 頻回に体位変換を行う。
3. 仙骨部周囲を清潔に保つ。
4. 発赤した皮膚を強く擦る。

あ 11-104 脳卒中患者への指導で正しい記述はどれか。

1. ベッド上の仰臥位から足を降ろして座る時は患側方向へ起きあがる。
2. 車いすからベッドに移る時は患側からベッドに近づく。
3. 階段を降りる時は患側から足を前に出す。
4. シャツを脱ぐ時は患側の袖から脱ぐ。

あ 11-105 痙性麻痺を呈するのはどれか。

1. 頸椎症性脊髄症
2. 腕神経叢麻痺
3. ポリオ
4. 手根管症候群

あ 11-106 疾患とその治療との組合せで誤っているのはどれか。

- | | |
|-------------|--------|
| 1. 関節リウマチ | パラフィン浴 |
| 2. 肩関節周囲炎 | ホットパック |
| 3. 総腓骨神経麻痺 | 低周波療法 |
| 4. 閉塞性動脈硬化症 | 寒冷療法 |

あ 11-107 体の区分で陰に属するのはどれか。

1. 大腿後面
2. 前腕外側
3. 胸腹部
4. 後頭部

あ 11-108 相生関係で正しい記述はどれか。

1. 土は金を生じる。
2. 火は木を生じる。
3. 木は水を生じる。
4. 金は火を生じる。

あ 11-109 五臓と五色との組合せで正しいのはどれか。

- | | |
|------|---|
| 1. 肝 | 赤 |
| 2. 脾 | 黄 |
| 3. 肺 | 黒 |
| 4. 腎 | 青 |

- あ 11-110 決断の精神作用を有するのはどれか。
1. 肺
 2. 腎
 3. 胃
 4. 胆
- あ 11-111 瘀血の症状として適切でないのはどれか。
1. 固定性の刺痛がある。
 2. 顔色が黒い。
 3. 皮膚湿潤がある。
 4. 腫瘍がある。
- あ 11-112 七情のうち肺の病を引き起こすのはどれか
1. 思
 2. 恐
 3. 憂
 4. 喜
- あ 11-113 気の機能で血を脈外に漏らさないようにするのはどれか。
1. 推动作用
 2. 温煦作用
 3. 防御作用
 4. 固攝作用
- あ 11-114 外因はどれか。
1. 七情
 2. 疫病
 3. 外傷
 4. 房事過多
- あ 11-115 疏泄の失調により怒りやすくなるのはどの臓腑の病変か。
1. 肝
 2. 肺
 3. 腎
 4. 脾
- あ 11-116 次の文で示す病証について適切なのはどれか。
「胃が痛み、腹部の膨満感がある。いつも食欲がなく軟便で疲れやすい。」
1. 肝
 2. 脾
 3. 肺
 4. 腎

- あ 11-117 経絡の流れで正しい記述はどれか。
1. 太陰脾経は胸から指先に至る。
 2. 陽明大腸経は指先から顔に至る。
 3. 少陽三焦経は顔から指先に至る。
 4. 厥陰心包経は指先から胸に至る。

あ 11-118 経絡流注で身体を下行するのはどれか。

1. 肝経
2. 脾経
3. 胃経
4. 腎経

あ 11-119 原穴はどれか。

1. 尺沢
2. 神門
3. 温溜
4. 内関

あ 11-120 任脈に属する経穴はどれか。

1. 期門
2. 百会
3. 命門
4. 気海

あ 11-121 膝関節より最も遠い部位にある経穴はどれか。

1. 陰陵泉
2. 地機
3. 三陰交
4. 梁丘

あ 11-122 坐骨神経の走行上にある経穴はどれか。

1. 血海
2. 梁丘
3. 犢鼻
4. 殷門

あ 11-123 肝兪より高い位置にある経穴はどれか。

1. 心兪
2. 脾兪
3. 胃兪
4. 腎兪

あ 11-124 経脈と所属経穴との組合せで誤っているのはどれか。

1. 膀胱経 風池
2. 督脈 大椎
3. 小腸経 臍兪
4. 胆経 陽陵泉

あ 11-125 三叉神経第 1 枝痛に対し、罹患神経への局所施術部位として適切なのはどれか。

1. 眼窩上孔部
2. 眼窩下孔部
3. オトガイ孔部
4. 茎乳突孔部

あ 11-126 大後頭神経痛に対し、罹患神経への局所治療穴として適切なのはどれか。

1. 頭維
2. 天柱
3. 完骨
4. 翳風

あ 11-127 肩背部のマッサージで最初に行う基本手技はどれか。

1. 母指圧迫
2. 四指揉捏
3. 切打
4. 手掌軽擦

あ 11-128 菱形筋のこりに対する局所への施術部位として適切なのはどれか。

1. 肩甲骨内側縁
2. 肩甲骨外側縁
3. 肩甲棘上縁
4. 肩甲棘下縁

あ 11-129 疾患と罹患局所への施術部位との組合せで適切でないのはどれか。

1. 過外転症候群 烏口突起下
2. 斜角筋症候群 肩甲骨内側
3. 肋鎖症候群 鎖骨下窩
4. 頸肋症候群 鎖骨上窩

あ 11-130 肘から前腕尺側にかけて痛みを訴える患者で疼痛領域に一致して治療を行う場合、対象となる経絡はどれか。

1. 肺経
2. 大腸経
3. 心経
4. 心包経

あ 11-131 コッドマン体操の目的として正しいのはどれか。

1. 健康管理
2. 痙性の抑制
3. 筋力増強
4. 関節可動域の拡大

あ 11-132 手根管症候群の罹患局所への施術部位で適切なのはどれか。

1. 手関節掌側の中央
2. 手関節掌側の橈側
3. 手関節背側の中央
4. 手関節背側の橈側

あ 11-133 間欠跛行のある腰部脊柱管狭窄症の患者への対応で適切でないのはどれか。

1. 腰椎の牽引を行う。
2. 腰部のホットパックを行う。
3. 歩行運動を指示する。
4. 腰椎外側部の揉捏を行う。

あ 11-134 梨状筋症候群の病態に対する治療法で適切なのはどれか。

1. 腰椎の矯正法
2. 殿部の持続圧迫法
3. 大腿部前面の神経伸展法
4. フレンケル体操

あ 11-135 変形性膝関節症に対する対応で適切でないのはどれか。

1. 大腿四頭筋の低周波通電を行う。
2. 膝関節部のホットパックを行う。
3. 階段昇降運動を指示する。
4. ハムストリングスのマッサージを行う。

あ 11-136 骨粗鬆症による腰背部痛の局所治療法で適切でないのはどれか。

1. 極超短波
2. 低周波通電
3. 軽擦法
4. 衝圧法

あ 11-137 のぼせに対する治療で適切でないのはどれか。

1. 肩背部の軽擦法を行う。
2. 四肢への誘導マッサージを行う。
3. 下肢の温浴を行う。
4. 頸部のホットパックを行う。

あ 11-138 VDT 作業による眼精疲労に対する局所治療穴として適切なのはどれか。

1. 瞳子膠
2. 合谷
3. 中腕
4. 足三里

次の文で示す患者について、あ 11-139、あ 11-140 の問に答えよ。

「55歳の男性。建設作業員。4か月程前から上肢の動作時に肩関節痛が痛む。最近、可動範囲が狭くなり、洗髪動作が困難となった。自発痛はなく上肢への放散痛もない。」

あ 11-139 最も考えられる疾患はどれか。

1. 頸椎症
2. 肩関節周囲炎
3. 胸郭出口症候群
4. 後縦靭帯骨化症

あ 11-140 罹患局所への治療法で適切でないのはどれか。

1. 母指揉捏法
2. ホットパック
3. 固定
4. 低周波通電

あ 11-141 軽擦法の種類と施術部位との組合せで適切でないのはどれか。

1. 手掌軽擦法 背部
2. 四指軽擦法 頭部
3. 指髁軽擦法 顔面
4. 二指軽擦法 手指

あ 11-142 強擦法について誤っているのはどれか。

1. マッサージに特有な基本手技
2. 軽擦法と圧迫法の複合手技
3. 主に関節部に応用する手技
4. 軟部組織の癒着の治療に用いる手技

あ 11-143 骨格筋に対する揉捏法の作用で適切でないのはどれか。

1. 新陳代謝の促進
2. 筋力の強化
3. 筋緊張の緩和
4. 筋疲労の除去

あ 11-144 手技と治療対象との組合せで正しいのはどれか。

1. 持続圧迫法 坐骨神経痛
2. うずまき状強擦法 腓腹筋けいれん
3. 環状叩打法 顔面神経麻痺
4. 矯正法 胃下垂

あ 11-145 膝関節の浮腫に対する大腿部へのマッサージの目的はどれか。

1. 誘導作用
2. 矯正作用
3. 興奮作用
4. 鎮静作用

あ 11-146 マッサージの刺激量を決定する要因でないのはどれか。

1. 手技の選択
2. 力の強弱
3. 施術者の体格
4. 時間の長短

あ 11-147 振せん法によって興奮する受容器のうち適切でないのはどれか。

1. ルフィニ小体
2. マイスナー小体
3. パチニ小体
4. 高閾値機械受容器

あ 11-148 温罨法が適するのはどれか。

1. 乳癌
2. 乳頭炎
3. 乳腺炎
4. 乳汁分泌不全

あ 11-149 内臓疾患の際に筋緊張を起こす機序はどれか。

1. 内臓 内臓反射
2. 内臓一体性反射
3. 体性 内臓反射
4. 軸索反射

あ 11-150 ホメオスタシスについて誤っている記述はどれか。

1. 生体の恒常性維持をいう。
2. 生命維持の重要な担い手である。
3. 大脳皮質による調節系である。
4. 内分泌系が関与する。